

2025 年の自己点検自己評価の結果

評価項目	自己点検・自己評価結果	
	点数	評価の概要と今後の課題
I 教育理念・目的	4.3	昨年度と比較して大きな変化はない。教育理念、目的、目標に整合性があり3 ポリシー（ディプロマポリシー、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー）から、当校の独自性が明確になっているという評価結果となった。今年度は昨年度の評価を受け質問内容をわかりやすいように修正したところ、「わからない」と答えているものが少なくなっている。引き続き正確な評価となるようにわかりやすく整えていく。
II 教育目標	4.3	
III 教育課程経営	3.6	評価内容をみると全体的にA評価（あてはまる）が多くなっている。これは昨年度の評価を踏まえ教員全員で教育課程全体をみえる化する研修会を実施した結果と考えられる。また、例年同様、授業準備時間が不足していると回答している割合が高かった。これは、学生対応や役割等によって、集中して授業準備の時間を確保できない状況とも考えられる。そのため、学生指導対応時間を引き続き確認しつつ、業務を効率化、整理できるようにDX化の推進など環境を整えていくことが必要と思われる。
IV 教授・学習・評価過程	4.0	昨年度と比べ大きな変化はないが A 評価（あてはまる）が多くなっている。しかし、一方で「わからない」と答えているものもある。授業の計画、実施日、評価について「わからない」と答えている人が困らないように指導、支援していく必要がある。
V 経営・管理過程	3.1	昨年度の評価にもあったが教職員全体が経営的視点をもち参画してもらうといった観点からも学校の収支の概算や領域別の物品購入などについて確認し実態把握していくことが必要と思われる。さらに、安全マニュアルについては、大まかなものはあるが詳細についてはまた十分整っているとはいえないため次年度にむけて整えていくことが必要である。また、質問用紙で一部、誤解を生じたり、意味がわからない表現になっている項目もあり、次年度は質問項目をわかりやすいように整えていく。また次年度 3 月には第三者評価を行う。
VI 入学	3.6	昨年度と比べ大きな変化はない。昨年度に引き続き、学生確保のためのインスタ運用、高校訪問など広報活動を行っている。昨年度評価にあった在校生の成績と入学生との関連性の確認では、面談資料として成績一覧表を作成したり、個々の平均点と選抜方法の関連性は確認している。しかし、昨年度は入学形態を追加したこと、今年度よりGPA評価を導入したこともありデータが不十分であるため今後、その辺も加味していくことが必要と思われる
VII 卒業・就職・進学	2.5	昨年と比べ大きな変化はない。昨年度の評価に卒業生の動向についての調査が十分できているとはいえない状況にあることから今年度は当法人の看護部の協力のもと卒業生へのアンケートを実施した。まだ分析はすんでいないが分析したものは今後の教育課程や教授、学

評価項目	自己点検・自己評価結果	
	点数	評価の概要と今後の課題
		習、評価過程などに反映していく。当校は附属看護学校という強みがあり、その時々で看護部と連絡、報告はしており今後も引き続きおこなっていきたい。
8 地域社会	2.5	昨年度と比べ大きな変化はない。地域への講師派遣や学校訪問の受け入れなどは随時行っている。次年度は地域貢献の一環として提携している千歳リハビリ大学との健康づくり教室を実施する予定である。高齢化率が高い地域ということで地域性のニーズを把握し少しでも来校してもらえるよう、当校をわかってもらうように発信していく。
IX 研究	1.8	例年、低い項目である。研究時間が確保できないことや研究的な素地ができていないことが要因と思われる。業務や教育課程の整理、研究授業の実施などが整い軌道に乗ったタイミングで行っていく必要がある継続課題である。

